

2021 年度活動概要

文学教育研究会

「英語教育を人間教育の立場から考える」という観点に立ち、英語教育学・英語学研究者の視点と英米文学研究者の視点の双方から、大学英語教育における効果的な文学教材の使用を研究している。例年は4月、6月、10月、12月の4回、同志社大学烏丸キャンパス、今出川キャンパスにおいて、主として第4土曜日の午後で開催してきたが、今年度はコロナの影響で、4月、6月、10月、12月の4回、ZOOMによるオンラインで例会を開催した。内容は以下のとおりである。

4月例会

講演

1. 玉井史絵先生（同志社大学）

タイトル：文学研究と英語教育

発表

2. 五十川敬子先生（同志社大学）

タイトル：リーディング授業で活用できるLMSの機能

—文学作品を使うからこそ深められる学生間コミュニケーションの可能性—

3. 松本真治先生（佛教大学）

タイトル：佛教大学英米学科新入生の英米文学を学ぶことに対する意識：文学と語学に関する意識調査から

6月例会

1. 高瀬敦子先生（岩野英語塾）

タイトル：多読授業を失敗させない方法

2. 稲垣俊史先生（同志社大学）

タイトル：同志社大学における英語多読の実践について

3. 山内勝弘先生（広島大学）

タイトル：学習者が文学作品を楽しむオンライン多読

4. 吉田真美先生（京都外国語大学）

タイトル：電子書籍を用いた多読プログラムへの挑戦：コロナ禍での取り組み

10月例会

1. 松田早恵先生（摂南大学）、永富真梨先生（摂南大学）

タイトル： 文学・音楽と翻訳・パロディ ～時代と国境を越えた物語創作～

2. 藤岡千伊奈先生（流通科学大学）

タイトル： コロナ禍を生きる学生の心に文学は寄り添えるのか
—吉本ばなの『キッチン』英訳版を味読したライブ配信授業—

3. 浅野享三先生（南山大学）

タイトル： 表現音読劇（Readers Theatre）のできる文学教育

12月例会

1. 工藤多恵先生（関西学院大学）

杉村寛子先生（大阪電気通信大学）

タイトル： 文学テキストを用いた「論理的想像力」の涵養方法を探る
— アシモフの短編小説を教材とするオンライン授業の実践報告 —

2. 須田久美子先生（富山大学）

タイトル： 『サロメ』と絵画—芸術系学部における専門と英語の接続を目指して
要旨：

3. 講演

幸重美津子先生（学習院大学）

タイトル： 英語教育における文学素材 ～IT時代の楽しみ方への提案～

以上のご発表、ご講演により会員一同、さらに研鑽を深めることができた。次回の4月例会は2022年4月23日（土）ZOOMにて開催予定である。